

宇部市上下水道事業総合計画  
アクションプラン  
＜2017年度進捗状況＞

宇部市上下水道局

## 宇部市上下水道事業総合計画の進捗状況について（2017年度）

### 1. 進捗管理

本市上下水道事業は、「宇部市上下水道事業総合計画」の基本方針に定める「安全・安心」、「持続」、「環境対策」、「サービスの推進」、「貢献」の5つの項目に沿った24の事業について指標又は目標（以下「指標等」）を設定し、推進しています。

また、設定した指標等を実現するため、進行状況を定期的に確認し、適正な進行管理を行うことを本計画中に明示しています。

以上のことから、毎年度終了後、指標等の進捗状況や今後の取り組みについて整理を行い、これを公表します。

### 2. 評価方法

年度ごとの評価については、指標等の推移で評価します。

### 3. 2017年度の進捗状況

基本方針に定める5項目24事業に対し、38の指標等（指標：18、目標：20）を設定しており、進捗状況は、以下のとおりです。（各事業については、別紙参照）

進捗状況		指標	目標
A	前倒し、もしくは事業完了	—	—
B	概ね予定どおり	15	16
C	若干の遅れ	4	—
D	大幅な遅れ	1	2

### 4. 総括

2017年度については、設定した38の指標等のうち15の指標と16の目標において「概ね予定どおり」という評価となりました。

なお、市役所新庁舎建設に下水熱利用が採用されなかったことから、未利用エネルギー活用推進に遅れが生じていますが、2018年度以降については小水力発電システムの導入に向けて検討を進め、環境対策事業を推進します。

今後も引き続き、各事業の目標達成に向け、更なる事業の推進に努めます。

基本方針1 安全・安心					
(1)水道水の水質管理					
①水質管理の充実	浄水課			【進捗状況：B】	
<b>(具体的な対策)</b> 宇部市と同じ厚東川を水源とする山陽小野田市と水質検査体制の共同化の協議を進め、両市で必要な水質検査機器を整備し、迅速で効率的な水質検査体制を構築します。  <b>(2017年度の実績)</b> 水質検査の共同化について協議し、2018年度から水質検査結果を一部共有することとしました。  <b>(2018年度の実績)</b> 水質検査作業を省力化するために、水質検査結果の一部共有を開始するとともに、引き続き水質検査の共同化について協議します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	協議	水質検査結果の共有		
	目標				
迅速で効率的な水質検査体制の構築					
①水質管理の充実	給排水課			【進捗状況：B】	
<b>(具体的な対策)</b> すべての簡易専用水道・小規模貯水槽水道設置者に対して、施設の適正管理を呼び掛けるとともに、直結給水可能な設置者に切り替えを促します。  <b>(2017年度の実績)</b> 施設設置者へ文書を送付し指導しました。 送付件数442件  <b>(2018年度の実績)</b> 施設設置者へ文書を送付し指導します。 送付件数437件(12月以降送付予定)	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	施設設置者へ毎年文書を送付し指導する			
	指標				
直結給水割合の向上（％） 2026年度末目標：95.2%					
基準値：94.2%(2016年度)					
	2017	2018	2019	2020	
目標	94.3	94.4	94.5	94.6	
実績	94.4				
①水質管理の充実	上水道整備課			【進捗状況：B】	
<b>(具体的な対策)</b> 公道部分に埋設してある鉛管について、配水管の更新計画に合わせて、効率的な解消を進めます。また、配水管の更新計画に含まれない鉛製給水管については、漏水の事前防止として地区単位で集中的に解消を進めます。  <b>(2017年度の実績)</b> ・給水管漏水の大部分を占める鉛製給水管を543件解消しました。  <b>(2018年度の実績)</b> ・中心市街地及び市街地東部地区(梶返、開、草江、八王子など)約14,000世帯を対象に漏水調査を実施します。 ・給水管漏水の大部分を占める鉛製給水管を年間約600件解消します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	団地内における鉛製給水管の解消	団地内及び鉛製給水管集中地区のリストアップおよび鉛製給水管の解消		
	指標				
鉛管残存率の減少（％） 2026年度目標8.6%以下					
基準値：11.5%(2016年度)					
	2017	2018	2019	2020	
目標	10.75	10.5	10.25	10.00	
実績	10.80				

(2) 施設の再構築					
① 浄水施設	総務企画課		【進捗状況:D】		
<b>(具体的な対策)</b> 広域化基本計画に基づき、山陽小野田市と十分な協議を行い、今後の水需要に応じた浄水施設の配置、施設能力などについて十分に協議を進め、浄水場の統合と効率化を図り更新費用を抑制します。  <b>(2017年度の実績)</b> 技術系専門部会による浄水場統廃合案について検討しました。  <b>(2018年度の実績)</b> ・検討委員会及び幹事会で浄水場統廃合案について検討します。 ・2019年3月までに、浄水場再編計画を含む広域化実施計画を策定します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程				
	計画	検討委員会・幹事会・専門部会における検討			
	目標				
厚東川を水源とする広瀬(宇部市)、中山(宇部市)及び高天原(山陽小野田市)の3浄水場の再編計画を策定するとともに、これに伴う給水計画や危機管理のあり方を策定する					
② 浄水施設	浄水課		【進捗状況:B】		
<b>(具体的な対策)</b> 耐震診断結果を踏まえた浄水施設の耐震化及び老朽化施設の更新を推進します。  <b>(2017年度の実績)</b> 広瀬浄水場の耐震診断を実施した結果、1系1,2号沈澱池、2系沈澱池の耐震補強が必要ということが判明しました。 中山浄水場については、2012年度に耐震診断を実施しており、8号ろ過池の耐震化が必要という事が判明しています。 <b>(2018年度の実績)</b> 浄水場更新計画を策定します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程				
	計画	耐震診断	更新計画策定	実施	
	目標				
耐震化計画を策定し、施設の更新を推進する					
② 配水池	浄水課・上水道整備課		【進捗状況:B】		
<b>(具体的な対策)</b> 配水池の耐震診断委託を実施し、耐震化を推進します。  <b>(2017年度の実績)</b> 市内11箇所の配水池について、耐震診断を実施しました。 2016年度に実施した7箇所を合わせた18箇所のうち8箇所の配水池で耐震補強が必要との結果となりました。  <b>(2018年度の実績)</b> 配水池の耐震化計画を策定します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程				
	計画	耐震診断	耐震化計画策定	実施	
	目標				
耐震化計画を策定し、施設の更新を推進する					

③水道管路	上水道整備課		【進捗状況：B・C】		
<p><b>(具体的な対策)</b>            管路の重要性や管種等を考慮し、3つの更新事業を策定し、事業を的確に進めます。            ①基幹管路更新事業・・・水道管として幹となるもので、耐震化を進めることで、被災時の復旧が早くなります。(年間事業費約4億円)            ②ビニル管更新事業・・・漏水が多い管種で、昭和50年代の開発団地に多く使用されており、鉛製給水管も残存しています。(年間事業費約3億円)            ③老朽管更新事業・・・上記以外の管路で主に法定耐用年数を経過したもので、耐震性に劣ります。(年間事業費約1億円)</p> <p><b>(2017年度の実績)</b>            ①基幹管路更新事業・・・691m(φ 300～φ 400)            ②ビニル管更新事業・・・6,390m(φ 50～φ 200)            ③老朽管更新事業・・・2,552m(φ 50～φ 200)            有収率が目標値を下回ったのは、国道2号の側溝下にある既設管VPφ 100mmの破損による漏水が大きな要因と考えられます。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b>            ①基幹管路更新事業・・・1,354m(φ 500)            ②ビニル管更新事業・・・2,569m(φ 50～φ 150)            ③老朽管更新事業・・・3,201m(φ 100～φ 200)</p>	実施期間				
	工程	2017	2018	2019	2020
	計画	基幹管路更新事業、ビニル管更新事業及び老朽管更新事業を推進する			
	指標				
	全管路耐震適合率向上(%) 2026年度末目標:32.1%				
	基準値:23.3%(2016年度)				
		2017	2018	2019	2020
	目標	24.2	25.1	25.9	26.8
	実績	24.2			
	指標				
有収率の向上(92.00%以上)					
基準値:91.47%(2016年度)					
	2017	2018	2019	2020	
目標	92.00	92.00	92.00	92.00	
実績	89.65%				
④下水処理場・下水ポンプ場	下水道企画室・下水道施設課		【進捗状況：B】		
<p><b>(具体的な対策)</b>            事業手法の見直しや施設規模の適正化・統廃合を検討するとともに、施設整備や改築・更新の優先順位を付け、中長期的な予測に基づき改築・更新を実施します。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b>            ・DBO方式による玉川ポンプ場事業に着手しました。            ・ストックマネジメント計画を策定しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b>            ・DBO方式による玉川ポンプ場の建設工事に着手します。            ・ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の改築・更新を実施します。</p>	実施期間				
	工程	2017	2018	2019	2020
	計画	玉川ポンプ場DBO事業の実施 施設の改築・更新の実施			
	目標				
	事業手法の見直しや施設規模の適正化・統廃合の計画を策定するとともに、改築・更新を実施する				

⑤下水道管渠	下水道整備課	【進捗状況：B・C】			
<p><b>(具体的な対策)</b> 下水道管渠の腐食等のリスクが高い箇所の特検方法・頻度を明確にし、定期的な調査を行い危険箇所の早期発見に努めます。また、重要な幹線等に位置付けている下水道管渠のリスク評価を行い計画的に改築・更新を実施します。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> ・危険箇所の有無を調査するため特検を実施しました。 ・改築更新した管渠延長 L=5,955.1m</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> ・JR軌道横断箇所を巡視特検します。 ・宇部市公共下水道管渠調査及び維持管理業務の一部業務を民間委託し、巡視特検などにより危険箇所を早期発見します。 ・分流地区の劣化が進んでいる管渠や法定耐用年数を超える管渠にTVカメラなどを用いた調査の実施及び緊急度判定します。 ・前年度に引き続き、合流地区における管渠の改築更新を行います。</p>	実施期間				
	工程	2017	2018	2019	2020
	計画	管渠調査 維持管理委託 緊急度判定による改築更新の実施			
	目標・指標				
	目標：道路陥没件数の減少(10件/年以下)				
	基準値：30件/年(2011～2015年度の平均)				
		2017	2018	2019	2020
	目標	10	10	10	10
	実績	7			
	目標：有収率の向上 2026年度目標：70.0%以上)				
基準値：66.4%(2015年度)					
	2017	2018	2019	2020	
目標	70.0	70.0	70.0	70.0	
実績	65.8				
(3)危機管理対策					
①危機管理計画	総務企画課		【進捗状況：B】		
<p><b>(具体的な対策)</b> 上下水道局の危機管理指針である「危機管理計画」を適宜検証し、災害や事故が発生した場合に迅速かつ的確に対応できる体制を確保します。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 水道事業と下水道事業の一体的な危機管理体制策定のため、危機管理検討専門委員会を設置しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> 引き続き、上下水道事業一体的な危機管理計画の策定に向けて協議を継続します。</p>	実施期間				
	工程	2017	2018	2019	2020
	計画	委員会設置	協議	策定⇒PDCA	
	目標				
	水道事業と下水道事業の一体的な危機管理計画を策定する				

①危機管理計画	総務企画課	【進捗状況：B】			
<p><b>(具体的な対策)</b> 「危機管理計画」の実効性を担保するため、定期的な防災訓練を実施し、災害時に迅速な行動ができるよう努めます。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 住民参加型防災訓練として、厚南校区と東岐波校区で防災訓練を実施しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> 住民参加型防災訓練として、琴芝校区で防災訓練を実施します。 宇部市総合防災訓練に合わせて、机上の参集訓練を抜き打ちで実施します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	校区自主防災会と連携した防災訓練の企画及び実施 危機管理検討委員会を中心とした内部訓練の企画及び実施			
	指標				
	防災訓練の実施件数(内部訓練含む):2回以上/年				
	基準値:2回(2016年度)				
		2017	2018	2019	2020
	目標	2	2	3	4
	実績	2			
①危機管理計画	総務企画課	【進捗状況：B】			
<p><b>(具体的な対策)</b> 防災訓練のフィードバックや事業継続計画(BCP)などの新たな考え方を取り入れながら、継続的に見直しを行います。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 危機管理検討専門委員会を設置し、策定に向け検討を開始しました。事業継続計画は、水道事業と下水道事業個別の計画とし、水道事業は委員会内で策定し、下水道事業は業務委託にて策定することとしました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> 水道事業は、委員会にて事業継続計画を策定します。 下水道事業は、業務委託にて事業継続計画を策定します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	検討	策定⇒PDCA		
	目標				
	上下水道事業継続計画を策定する				
②雨水の浸水対策	下水道企画室・下水道整備課	【進捗状況：B】			
<p><b>(具体的な対策)</b> 浸水常襲地域の雨水整備に継続して取り組むと同時に、パトロールの強化なども並行して取り組みます。 気候変動等に伴う局地的大雨の対策として、ハード・ソフト・自助の組み合わせで浸水被害を最小化する事業を実施します。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> ・五十目山、琴芝、八王子の雨水整備を実施しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> ・五十目山、琴芝、八王子の雨水整備及び中川15号雨水幹線の設計業務を実施します。 ・地元からの配布要望に対応するため、「土のう」を備蓄します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	雨水整備の実施			
	指標				
	浸水対策重点整備地域の事業進捗率向上(%) 2026年度末目標:95.9%				
	基準値:23.9%(2016年度)				
		2017	2018	2019	2020
	目標	27.7	38.8	49.1	61.1
	実績	27.7			

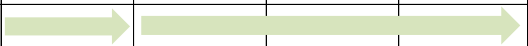
③陥没事故防止	下水道整備課	【進捗状況：B】				
<p><b>(具体的な対策)</b>  これまでの管路調査結果や陥没履歴、地域特性などの情報を集約して共有することで、早急に対処すべき管路施設を適確に把握していきます。また、管路調査の対象区域を広げて更新を実施することで陥没事故等を未然に防止します。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b>  合流区域を中心とした下水道整備区域内の下水道管渠を巡視、点検しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b>  引き続き、合流区域を中心とした下水道整備区域内の下水道管渠を巡視、点検します。  分流地区の劣化が進んでいる管渠や法定耐用年数を超える管渠にTVカメラなどを用いた調査の実施及び緊急度を判定します。</p>	実施期間					
	工程	2017	2018	2019	2020	
	計画	下水道整備区域内の巡視、点検 分流区域の管路調査 分流区域の緊急度判定				
	目標・指標					
	目標：調査区域の拡大 合流区域⇒分流区域					
	基準値：0.0km(2017年度分流地区未実施)					
	目標	2017	2018	2019	2020	
	実績	—	20.0	27.0	27.0	
	④情報管理体制の充実	全課	【進捗状況：B】			
	<p><b>(具体的な対策)</b>  お客様情報の管理・取扱い上、特に注意しなければならない事項を洗い出し、そのリスク低減措置を検討します。低減措置策として管理・取扱方法をマニュアル化するとともに、職員への研修を実施します。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b>  リスク低減策として個人情報保管場所を確保するため、旧サーバ室を整理しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b>  2017年度の実績に引き続き、旧サーバ室に口座振替依頼書と職員の個人情報の保管場所を整備。出入口の施錠管理徹底します。  職員に対する個人情報取扱事務の研修実施します。</p>	実施期間				
工程		2017	2018	2019	2020	
計画		個人情報保管場所の整理 個人情報取扱実態調査 管理取扱マニュアルの策定(2020年度)				
目標						
お客様情報の管理・取扱方法をマニュアル化する						
⑤技術継承		総務企画課	【進捗状況：B】			
<p><b>(具体的な対策)</b>  人材育成計画に基づき、計画的で効果的な研修を進め、上下水道職員としての知識の継承を図るとともに、非常事態にも迅速に対応できる職員の危機管理能力や技術の向上に努めます。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b>  各部署主催の内部研修を実施しました。  講座数：12  参加職員：延べ292人</p> <p><b>(2018年度の実績)</b>  各部署主催の内部研修を実施します。  職員アンケートなどにより、研修メニューを充実させます。</p>		実施期間				
		工程	2017	2018	2019	2020
		計画	研修等の実施			
		指標				
	職員1人当たりの研修受講時間(分)					
	基準値：160分(直近3か年(2014～2016年)平均)					
	目標	2017	2018	2019	2020	
	実績	180	190	200	210	
		300				



基本方針2 持続					
(1)経営基盤の強化					
①収入の確保	営業課		【進捗状況:B】		
<b>(具体的な対策)</b> 未収金回収策として、水道料金・下水道使用料については、これまでの未納者への指導強化、口座振替の推進、無届転出防止の対策に加え、平成29年(2017年)1月から導入しているコンビニ収納の実施により未収金回収の向上に努めます。 <b>(2017年度の実績)</b> ・コンビニ収納及び検針時現地納入通知書発行により、納付制利用者に対して早期回収効果が表れました。  <b>(2018年度の実績)</b> ・高額滞納者、長期滞納者及び常習滞納者に対し指導強化を行うとともに、納付誓約書による分割納付で回収します。 ・無届転出の利用者については公用住民票請求等により定期的に調査を行い、転居先が判明した利用者には納入通知書を送付し自主納付を促します。 ・口座振替推進、無届転出防止の取組を継続して行います。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	口座振替の促進、無届転出の防止、未納者への指導強化 納付誓約書による分割納付で回収 無届転出者の居所調査			
	指標				
	水道料金・下水道使用料の収納率99.9%以上				
	基準値:99.8%(2015年度)				
		2017	2018	2019	2020
	目標	99.9	99.9	99.9	99.9
	実績	99.9			
①収入の確保	下水道整備課		【進捗状況:B】		
<b>(具体的な対策)</b> 受益者負担金については、関係職員で臨戸訪問する収納強化月間を設定し、収入未済額の減少を図ります。  <b>(2017年度の実績)</b> ・現年度分について、督促納期後すぐに未納者に電話及び訪問による納付指導を実施しました。 ・過年度分について、年3回(7月・9月・11月)の文書催告を行うとともに、電話及び訪問による納付指導を強化しました。 ・収納課等の強制徴収公債権の担当課から情報収集しました。 <b>(2018年度の実績)</b> ・事前にパンフレットを配布して、受益者負担金制度について周知して、期限内納付への理解と協力を推進します。 ・前年度に引き続き、電話、訪問、文書催告を行い、納付指導を継続します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	未納者に対する納付指導			
	目標・指標				
	目標:収納率97.2%以上				
	基準値:97.2%(2013~2015年度の平均)				
		2017	2018	2019	2020
	目標	97.20	98.41	98.42	98.43
	実績	98.76			

①収入の確保	給排水課・下水道整備課		【進捗状況:B】		
<p><b>(具体的な対策)</b>            下水道普及地域内の未利用者へ下水道の接続促進により、新たな収入確保に努めます。</p> <p><b>(2017年度の取組実績)</b>            ・汚水整備工事の着手前に地元説明を実施して、水洗化を促すパンフレットの配布と説明を実施しました。            ・2014年度に汚水管工事を布設し整備した汚水柵247個の内、供用開始後3年経過した未水洗の52個の世帯に対して、個別訪問を行い、未水洗の聞き取り調査及び水洗化を促すパンフレットの配布による公共下水道への接続を依頼しました。            ・下水道台帳と水道料金システムを突合し、未接続戸数の確認を実施しました。</p> <p><b>(2018年度の取組内容)</b>            ・前年度に引き続き、汚水整備工事の着手前に地元説明を実施して、水洗化を促すパンフレットの配布と説明を実施します。            ・供用開始後3年目の未水洗の世帯に対して個別訪問を行い、未水洗に対する聞き取り調査及び公共下水道への接続のお願いを実施します。            ・供用開始3年を経過した世帯の水洗化と未水洗を調査し、未水洗の世帯に対して個別訪問を行い、未水洗に対する聞き取り調査及び公共下水道への接続のお願いを実施します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	汚水工事着手前の地元説明 水洗化、未水洗の調査 個別訪問・聞き取り・接続依頼			
	指標				
	水洗化率向上(対前年度比)				
	基準値: 95.5%(2016年度)				
		2017	2018	2019	2020
	目標	95.5	95.9	—	—
	実績	95.9			


①収入の確保	上水道整備課	【進捗状況:D】			
<p><b>(具体的な対策)</b> 上下水道普及地域内の未利用者へ上水道の接続促進により、新たな収入確保に努めます。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 上水道へ接続されていない世帯の洗い出しと、工事を実施されていない方へのアンケート内容について検討しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> 当初水道接続を希望したが、工事を実施されなかった方(45名)に対するアンケートを行います。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程				
	計画	個別訪問・聞き取り・接続依頼			
	指標				
	個別訪問件数:件/年 2026年度末目標:10件以上				
	基準値:実績なし				
		2017	2018	2019	2020
目標	10	10	10	10	
実績	0.0				
②適正な経費負担区分を前提とした独立採算の原則【下水道事業】	財務課	【進捗状況:B】			
<p><b>(具体的な対策)</b> 市財政の健全化及び下水道経営の自立を進め、適正な収入の確保、経営の合理化に努めます。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 2018年度当初予算策定作業において、一般会計繰入金における繰出基準外経費等を削減しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> 引き続き、来年度当初予算策定作業において、一般会計繰入金の見直しに取り組みます。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程				
	計画	当初予算策定時における一般会計繰入金の見直しに向けた検討			
	目標				
	本市独自の繰出基準の見直し				

③投資の平準化	財務課		【進捗状況:B】		
<p><b>(具体的な対策)</b>            アセットマネジメントを導入し、投資・維持管理をマネジメントすることにより収支バランスのとれた経営と資産状態の健全化の両立を図ります。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b>            2016年度決算に係る「経営指標」の実績値について、「経営の健全性・効率性」の状況に係る主な指標を事業年報において公表しました。            水道事業・下水道事業とも、経常収支比率は100%を超えており、流動比率は水道事業が200%超、下水道事業が100%超であることから、経営状況は健全性を保っていると言えます。            また、資産においては、資産の老朽化度を表す有形固定資産減価償却率が経年的にやや上昇傾向にあるものの、管路・管渠の更新により、管路・管渠老朽化率及び管路・管渠改善率は経年的に改善傾向にあり、総合的には健全化が進んでいると言えます。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b>            2016年度決算の経営比較分析表を局ホームページで公表するとともに、分析を行います。また、2017年度決算に係る「経営指標」の実績値について、「経営の健全性・効率性」の状況に係る主な指標を事業年報において公表します。</p>	実施期間				
	2017	2018	2019	2020	
	工程				
	計画	「経営指標」実績値の公表	・「経営指標」実績値の見える化 ・5年後を目途にした財政収支計画表の見直し(2021年度中)		
目標					
収支バランスのとれた経営と資産状態の健全化の継続的な両立					

④定員管理の適正化	総務企画課		【進捗状況:B】		
<p><b>(具体的な対策)</b> 組織の見直し、業務の効率化、嘱託・再任用制度の活用等により職員数の適正化を図ります。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 定員適正化計画の推進として、業務のあり方を見直し、2名を減員しました。 職員数:2016年度当初 201人 2017年度当初 199人</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> 再任用職員活用による新規採用職員を抑制するため、組織機構の見直しを検討します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	人員体制の最適化			
	指標				
	職員数(人)				
	基準値:201人(2016年度) 2026年度目標:180人				
		2017	2018	2019	2020
	目標	199	197	192	191
	実績	199			
(2)広域化・最適化の検討と推進					
①水道事業広域化	総務企画課		【進捗状況:C】		
<p><b>(具体的な対策)</b> 宇部市と山陽小野田市は、両市とも厚東川を水源としており、広域化による効果が大きいと見込まれるため、業務の共同化や経営の一体化など広域化の協議を進めます。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 業務の共同化に向けて事務調整を行いました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> ・水道週間行事、出前講座、水源かん養事業などの視察を行い、相互協力について検討します。 ・人材育成の共同化(お互いの内部研修に参加)について検討します。 ・その他の事務事業共同化について検討します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	協定書締結	共同化可能事業の検討		
	指標				
	共同化業務総件数(件) 2026年度目標:18件以上				
	基準値:2件(2018年度実施予定件数)				
		2017	2018	2019	2020
	目標	—	2	4	6
	実績	—			

②集合処理・個別処理の区域の見直し	下水道企画室		【進捗状況：B】		
<p><b>(具体的な対策)</b> コンパクトなまちづくりに合わせ、汚水の集合処理・個別処理の区域を見直し、汚水処理施設整備構想及び下水道事業計画について、整備予定区域の縮小を検討します。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 上下水道事業検討委員会を設置し、下水道整備区域の見直しを議論しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> 上下水道事業検討委員会からの提言を踏まえ、事業計画区域の見直しについて方針決定した後に、地元説明を実施します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→	→	→	→
	計画	検討委員会による下水道整備区域の見直しを議論	整備区域の見直し方針決定	事業計画の変更業務の発注	汚水処理構想見直し業務発注
	目標				
最適な汚水処理方法の見直し					
(3)民間活力の活用					
①施設運営の委託	下水道企画室・下水道施設課		【進捗状況：B】		
<p><b>(具体的な対策)</b> 西部浄化センターについては、今後予定している玉川ポンプ場の維持管理業務委託と合わせた民間委託の効率性について検討します。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 西部処理区コンセッション事業に伴う導入可能性調査委託を実施しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> ・西部処理区コンセッションに向けた情報整備調査委託を実施します。 ・官民連携による効率的な下水道事業運営の推進に向けたあり方勉強会を実施します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→	→	→	→
	計画	西部処理区コンセッション事業の導入可能性調査	西部処理区コンセッションに向けた情報整備調査及び下水道事業運営に関するあり方勉強会を実施	民間委託手法の検討	委託手法に合わせた導入調整
	目標				
民間委託を検討し、より効率的な施設運営を行う					
②事業手法の検討	下水道企画室		【進捗状況：B】		
<p><b>(具体的な対策)</b> 下水道事業の実施にあたっては、国の方針を踏まえてPPP/PFI等の事業手法の導入を検討します。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> DBO方式による玉川ポンプ場事業者決定しました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> 芝中ポンプ場PPP/PFI等の事業手法の導入を検討します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→	→	→	→
	計画	DBO方式による玉川ポンプ場事業者決定	芝中ポンプ場PPP/PFI等の事業手法の導入の検討		事業手法に合わせた導入手続き
	目標				
PPP/PFI等の事業手法導入を検討し、より効率的な施設運営を行う					

基本方針3 環境対策					
(1)環境対策					
①放流水の水質管理	下水道施設課			【進捗状況:B】	
<b>(具体的な対策)</b> 高度処理施設を導入するとともに水質測定回数を増やし、処理状況や測定結果を分析します。その結果を運転管理に反映することにより、放流先の水域への窒素・リンの影響を軽減します。  <b>(2017年度の実績)</b> 高度処理施設を建設しました。(完成)  <b>(2018年度の実績)</b> ・採水箇所 16箇所追加 : 50箇所 → 66ヶ所 ・検査項目143項目追加 : 612項目 → 755項目	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→→→→			
	計画	新施設建設(完了)	新施設試運転開始 検査項目追加	新施設本格稼働 放流水質適正管理	放流水質適正管理
	指標				
	水質汚濁防止法 総量規制基準値の遵守 17.5mg/L以下(2017年度まで) 16.6mg/L以下(2018年度から)				
		2017	2018	2019	2020
目標	窒素 17.5mg/L以下	窒素 16.6mg/L以下	窒素 16.6mg/L以下	窒素 16.6mg/L以下	
実績	窒素 13.1mg/L	—	—	—	
②環境負荷の軽減	下水道施設課			【進捗状況:C】	
<b>(具体的な対策)</b> 各施設における設備及び機器の計画的な補修、更新等を行うとともに、更新時には十分な調査研究を行い、高効率で低負荷な機器を導入し、温暖化防止に努めます。  <b>(2017年度の実績)</b> ・東部浄化センター場内水銀灯13灯をLED化しました。 ・東部浄化センター事務室、水質実験室の集中管理型エアコンを個別管理小型エアコンへ更新しました。 ・No.1消化槽を廃止しました。  <b>(2018年度の実績)</b> No.2消化槽を廃止します。(使用停止)	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→→→→			
	計画	場内街灯LED化 エアコン更新	No.2消化槽廃止	ブローア更新 2基廃止 ↓ 1基新設	消化ガス発電施設の効率的運転
	指標				
	エネルギー使用に係る原単位改善(対前年度比) 基準値:エネルギー原単位(GJ)前年比1%改善				
		2017	2018	2019	2020
目標	1811	1868	前年GJの99%	前年GJの99%	
実績	1887GJ 前年比103.2%	—	—	—	

③未利用エネルギーの活用推進	上水道整備課・下水道企画室		【進捗状況:D】		
<p><b>(具体的な対策)</b> 下水熱利用や小水力発電設備を導入することにより、環境負荷軽減を図ります。</p> <p><b>(2017年度の実績)</b> 宇部市役所の新庁舎建設において、給湯に下水熱利用のPRを行いました。家庭用湯沸かし器程度の効果に対し、イニシャルコストが高価であることから不採用となりました。</p> <p><b>(2018年度の実績)</b> 南側調整池小水力発電システム導入に向けて検討します。</p>	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程				
	計画	下水熱利用のPR	小水力発電システム導入にむけての現地調査、検討	小水力発電システム導入にむけての実施協議	
	目標				
下水道熱利用及び小水力発電導入の検討					



基本方針4 サービスの推進					
(1)効果的な広報戦略					
①広報活動の推進	総務企画課			【進捗状況:B】	
<b>(具体的な対策)</b> 水道アンケート、水道モニター研修会及び施設見学などを通じて得たお客様ニーズを把握し、ホームページや「すいすいだより」を通じて、積極的な情報提供を進めます。  <b>(2017年度の実績)</b> 発行回数を年1回から年4回に増やし、併せて「すいすいだより」の名称を「上下水道局からのお知らせ」に変更しました。  <b>(2018年度の実績)</b> ホームページや「上下水道局からのお知らせ」等による積極的な情報提供について検討します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	積極的な情報提供の推進			
	指標				
	ホームページでの情報提供件数(件/年)				
	基準値:43件(2016年度)				
		2017	2018	2019	2020
目標	43	45	47	49	
実績	46				
①広報活動の推進	総務企画課・下水道企画室			【進捗状況:B】	
<b>(具体的な対策)</b> 下水道事業も含めたモニター制度を検討します。  <b>(2017年度の実績)</b> ・モニター参加行事へ下水道関係職員も参加しました。 ・モニターアンケートに下水道事業関係の項目を追加しました。  <b>(2018年度の実績)</b> モニター制度の企画、募集要綱等の見直しについて検討します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	上下水道モニター制度の企画			実施
	目標				
	上下水道モニター制度の実施				
	指標				
		2017	2018	2019	2020
目標	4	4	4	4	
実績	9				
①広報活動の推進	総務企画課			【進捗状況:B】	
<b>(具体的な対策)</b> 2017年度から、市内24校の小学生を対象とした水道に関する授業を推進します。  <b>(2017年度の実績)</b> 市内24校に実施依頼文を送付し、結果9校で実施しました。  <b>(2018年度の実績)</b> 市内24校に実施依頼文を送付し、昨年度以上の実施を目指します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	市内24校に実施依頼文を送付し、4学年主任に電話で実施を依頼する			
	指標				
	水道に関する授業実施件数(4校以上/年)				
	基準値:4校(2016年度)				
		2017	2018	2019	2020
目標	4	4	4	4	
実績	9				

基本方針5 貢献					
(1)国際貢献					
①技術協力	給排水課、浄水課			【進捗状況：B】	
<b>(具体的な対策)</b> JICA 草の根技術協力事業を通じて「インドネシア国ブンカリス県」の水道水質の改善を図ります。終了期間 平成31年2月  <b>(2017年度の実績)</b> ・10月にインドネシアブンカリス県職員5人を受け入れ基本的水質試験方法習得と浄水処理における施設の仕組みを理解させました。 ・11月専門家3人の派遣を行い現地原水を用いた適正薬品注入量の分析、現地施設の不備改修を指導しました。  <b>(2018年度の実績)</b> ・4月に専門家1人の派遣を行い2017年に指導した改善点の進捗状況を確認します。 ・9月にインドネシアブンカリス県職員6人を受け入れ、適正ジャーテストの使用法や色濁計の使用法を習得します。 ・11月に専門家3人派遣しJICA国際協力目標を確認します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	施設・薬品注入改善	施設改善、目標達成確認		
	目標				
水道水質の改善(市民アンケートによる市民満足度30%の上昇)					
①技術協力	浄水課・下水道施設課			【進捗状況：B】	
<b>(具体的な対策)</b> 宇部市が受け入れた研修生に対し、浄水場や下水処理場等への視察を受け入れ、宇部市の上下水道技術を世界に向けて紹介します。  <b>(2017年度の実績)</b> ・5月に山口大学大学院理工学研究科研修インドネシア4人、マレーシア1人に対し水道事業全般の講義及び上下水処理場施設見学を実施しました。 ・6月に山口大学工学部社会建設工学科インドネシア9人に対し水道事業全般及び浄水場施設見学を実施しました。  <b>(2018年度の実績)</b> ・5月に山口大学大学院理工学研究科研修インドネシア1人に対し水道事業全般の講義及び上下水処理場施設見学を実施します。 ・12月にJICA青年研修インドネシア14人に対し水道事業全般の講義及び浄水場施設見学を実施します。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	毎年度、市環境政策課、宇部IECAと連携協力する			
	目標				
宇部市の水処理、下水処理技術の諸外国へ紹介し、諸外国の技術力アップを目指す					
①技術協力	給排水課			【進捗状況：B】	
<b>(具体的な対策)</b> 新水道ビジョンに掲げる国際貢献に基づき、JICA 技術協力事業の研修生を受け入れ、技術協力に貢献します。  <b>(2017年度の実績)</b> 国際協力機構中国国際センター(JICA中国)主催、平成29年度課題別研修「都市上水道維持管理(給・配水)(B)」研修へ講師を派遣しました。  <b>(2018年度の実績)</b> 現在のところ要請はありませんが、要請があれば引き続き研修生を受け入れます。	実施期間				
		2017	2018	2019	2020
	工程	→			
	計画	毎年度、JICAと協議する			
	目標				
・講師の派遣 ・施設視察の受け入れ					